

日刊 磐城時報

編者 石城郡平町岩崎町十四
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
電話 一四九
廣告料 一月十元 三月三十元 半年六十元 一年一百元
訂代料 一月一元 三月三元 半年六元 一年十二元
日刊 (日曜祭日) 休刊

小名濱商港工事

本年から本工事に入る

活気づいた小名濱

二ヶ月間で人口千名増加

石城郡小名濱町の商港修築工事は五年度は僅かに港内測量或は間知石の購入等による総工費僅かに十萬圓足らず極めて小規模なものであつたが、六年度からはいよいよ既定の本工事に移ることになつて居り既に同年度豫算も二十九萬七千圓と決定されてゐるので築港事務所では新年度早々から保技術員の増加を行ひ先づ第一期に屬する岩壁の埋立から防砂、防波の各工事へ手を染める等、さてこの商港完成への第一歩は暫らく沈滞してゐた同方部の商工界に對して一線の光明を與へることになり、それを見越して日に日に躍進から常磐炭礦界の死活に關するもの程度の引下げに喰ひ止めんと死躍進への道程をたどり去る一月として注目されてゐる鐵道省と力を盡して狂奔してゐるが、鐵道省の態度は容易に軟化するから二月末日まで僅か二月足らずに海岸通り一帯は人家櫛比の中句ごろから正式に交渉を開始し人口亦千名以上を激増するの事となつてゐるが、三井報に昨秋漸く活気づいて來た大發展を示すに至りその活気は三菱系の各炭礦との交渉経過が常磐炭礦界一隅も憂色に蔽はれて寧ろ物凄程であるが、假りに見ても鐵道當局の炭價引下げの態度が如何なるものであつても一割二分乃至一割程度の軒小千軒と云はれたその昔値下げをもつて臨むであらう事では十三日から四日間同署演武の如くに堂々平町と肩を並べるは今や殆んど確定的だとさへ見場が創設の稽古をなすが毎日午に至るものと町民一般の觀測でられるに至り磐城、入山、古河前十時から午後四時迄で一般參觀の關係諸炭礦は飽迄五六十錢加を希望すると。

悲觀情報頻りに傳はり

常磐炭礦氣を揉む

納炭價格引下げについて

鐵道當局の態度強硬

常磐炭礦界の死活に關するもの程度の引下げに喰ひ止めんと死躍進への道程をたどり去る一月として注目されてゐる鐵道省と力を盡して狂奔してゐるが、鐵道省の態度は容易に軟化するから二月末日まで僅か二月足らずに海岸通り一帯は人家櫛比の中句ごろから正式に交渉を開始し人口亦千名以上を激増するの事となつてゐるが、三井報に昨秋漸く活気づいて來た大發展を示すに至りその活気は三菱系の各炭礦との交渉経過が常磐炭礦界一隅も憂色に蔽はれて寧ろ物凄程であるが、假りに見ても鐵道當局の炭價引下げの態度が如何なるものであつても一割二分乃至一割程度の軒小千軒と云はれたその昔値下げをもつて臨むであらう事では十三日から四日間同署演武の如くに堂々平町と肩を並べるは今や殆んど確定的だとさへ見場が創設の稽古をなすが毎日午に至るものと町民一般の觀測でられるに至り磐城、入山、古河前十時から午後四時迄で一般參觀の關係諸炭礦は飽迄五六十錢加を希望すると。

武徳殿發會式

町湯本武徳殿の發會式は一日午前八時から舉行の試合成績優良者左の如し
一等若林警部補、二等猪狩警部補、三等桐原英純、四等高橋長兵衛

女青年講習

石城郡女子青年團の幹部講習會は来る七日平第二小學校内で開催同日は高島平三郎氏の講演がある等。

第二校雜祭

平町第二校の雜祭は三日午前十時から校長以下被害者、加害者の受持教員矢野、吉成兩氏等哀愁の情に沈んでゐる。

草野統計講習會

石城郡草野村では三月十五日統計講習會を開くので縣から講師として相澤廣派遣される。

石島德長氏令息 體操時間中に負傷

腸出血で遂に死亡

平町字白銀町石島德長氏令息平前十一時より同本堂に於て執行第一小學校二年生體操(十)君は過激な體操時間中學校裏に於て雪合戦をなした際同僚平町四軒町丹野某(十)に背後から突かれ校庭から長坂道路に轉落腹部を石に打つたので若松、清水、川井、上田各醫師の診療を受けたが腸出血から腹膜炎を起したので慶大附屬病院で開腹手術を行つたが遂に死亡した。學校當局では授業時間中の出来事でもあり會我校長以下被害者、加害者の受持教員矢野、吉成兩氏等哀愁の情に沈んでゐる。

四倉校學藝會

石城郡四倉小學校學藝會は三日午前九時から開催したが盛會を極め安養寺で執行した。

石島家葬儀

平町白郡小名濱町字定西鈴木定次郎方石島德長氏(男)君の葬儀は六日午後二時自宅出棺神葬廣吉(三五)外五名が現金賭博開張中が署員に踏み込まれ逮捕された。

木田氏の葬儀

石城郡平窪村農會長木田源一氏の葬儀は四日午後二時自宅出棺同村安養寺で執行した。

小名濱の賭博

石城郡小名濱町字定西鈴木定次郎方の石島德長氏(男)君の葬儀は六日午後二時自宅出棺神葬廣吉(三五)外五名が現金賭博開張中が署員に踏み込まれ逮捕された。

看護婦に感謝狀

平町南町平看護婦會看護婦遠藤トメ子は昨年六月から本年二月末日まで内村村隔離病舎にあり職務に勉勵したので野木村長から金一封を添え感謝狀を贈られた。

新學期から平商校で

午後の授業はやらぬ

面目一新の計劃

平商業學校は既報の如く五年制余名募集、教協議長代理としとなつたので面目を一新する事となり校歌の作製やその他種々な計劃をたてゝあるが、新學期教育指針なるためいづれも聽衆期からは授業は午前中とし午後者を感動させ殊に萬緑叢中紅一は絶対に授業を行はず生徒の自点ともいふべく多くの研究發表者の中に錦校佐川さよさんの發言は殊に注目され最後に札幌市日本殖民學校講師大島喜一氏の殖民研究の實際の講習二時間あり、火鉢一つない寒い講堂に何れも熱心に聴聽した。因に研究發表者及演題は左の如くで第一教育協議會では之を印刷配本すると

眞木辯護士移轉

平町南町辯護士眞木桓氏は今回紺屋町古銀治町通りに事務所を新築し五日移轉する。

菊田方部 教育研究會

石城郡第一方部(舊菊田)教育研究發表會は一日午前十時植田町町字新町如來寺境内にある弘法堂に於て開催した、定刻迄に百

郷土地理の研究

植田校 山宅徳
生理衛生より見たる救急處置
に就て 勿來校 荻生田智雄
農村教育の刷新 眞船 鈞壽
國史上に現はれた時代相と國史の使命觀 山田校 桑花 利政
職業指導に就て 勿來尋校 柴石 太郎
西洋美術史批判と私の國史教育觀 川部校 柳内 二郎
算術の指導方法に就て 植田校 下山田 健
石川啄木と其詩歌 柄笠久太郎
入道野校
私の小學校に於ける手工教育の實際 錦村 園部 一巳
新教育思潮に基ける尋五國語讀本の研究 田原校 石山 格道

學級問題

關田校の財政難と統一教育の兩方面から輿論高まりつゝあつた勿來町關田校の本校舍合併問題は既に數次報道した如く果して今回の豫算町會が具體化し取敢ず六學級中一學級を廢して教員を減ずれば一千餘圓の財政緩和を圖り得るとの議論が起つてゐるが然し右に對し僅の感情問題から部落民間に反對を唱へる者があるが既に二學級を減じて四學級となし分教場となさば實に戸數割一戸平均二圓内外の減を見られるのでこの際五十歩、百歩であるが斷然斯くすべしと提唱する者が相當に多い模様であるその發言氣からしても早晩何れかの實現となるは當然の事である場合狭隘な意見を捨て、大同に歸すべしと多數の有志は希望してゐる、だ、現在感情の激しい折柄として相當に慎重な態度をとらねばならぬので成行を注目する。

蒲田創立十週年記念超弩級大帝王篇

雜誌(富士)連載……巨匠、牛原産彦波歐最後の作品
鈴木傳明、岡田時彦、田中絹代、藤野秀夫、主演
原作……佐藤紅緑先生。

若者よなせ泣か

りよ連一タス田蒲の演出に「かく泣げなよ者若」
……たしまき届が品贈寄な敵素へ様皆
差を券籤抽くなれ洩へ方たつ成に覽御「よ者若」
……いさ下で出わく早御非是……すまげ上

供提籤抽品贈寄優俳田蒲

の優名竹松なき好たの様皆
いさ下け受御非是物贈

ヨル	伊	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
ル	岡	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
午	武	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
後	山	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
五	谷	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
時	河	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
時	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
ヨ	吉	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
リ	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
料	林	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
金	谷	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
普	河	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
通	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
常	吉	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
九	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
日	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
本	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
館	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
電	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
4	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
6	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車
6	小	其	他	達	宗	里	十	子	郎	浦	子	浦	浦	制	上	女	繪	シ	中	浦	シ	女	女	オ	二	重	ト	ン	車

間日六りよ日三月三。王又夜盜怪の清田澤
開公夜書日毎。べツ太彌の關の郎二長林
迄日廿りよ日五十舊。

磐城佑賢學舎生徒募集

一、普通科 入 高等科卒業程度ノ男女
一、新農蠶科 格 尋常科卒業程度以上ノ男
一、右各科共ニ入學試験ハ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可ス
一、新學期開始 四月 六日
一、詳細ハ規則書請求ノ事
昭和六年三月
平町六間門二十番地
磐城佑賢學舎
(電話九三)

腸胃 専門 内科
十二指 腸胃病 胃腸病
皮膚病 淋病 婦人病 皮膚病
院醫科 腸胃 村松
(七〇一話電) 町南町平

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平國五〇七番

耳鼻咽喉科 專
氣管食道科 門
病室完備：自炊の便あり
平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

美味にして 強壯の効 著大
肉を 血を 肥やし
スポンジ
錠ニピロクモヘンボツス
圖三價定酒ンボツス
圖二價定酒ンボツス
店理代
角目丁五町平
局藥邊野山

平町田町(電話五二三番)
高久病院
醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 雄
内科 小兒科 外科 花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

看護婦募集(免許所有者)
平町紺屋町
電話六八八番
吉田眼科病院

炭も。揮發油も。電氣も使はず
ホカく温い(入替燃料(四十日分)
最新化學の生んだ理想的保温器
火なしあかん
文化暖爐
特許 專賣
定價(一組)(材料付三圓)
▼一般家庭の保温用(殊に小兒、老人、病人用に) ▼病院
にはベットの保温用に ▼自動車にはクッションの保温用
▼旅館等には蒲團の保温用に ▼事務所には椅子の保
温用に ▼麻雀俱樂部等には座布団の保温用に
▼安全と經濟を兼ねた時代の必需品…… ▲

販賣店 三小野常治商店
平町四丁目
電話百四十四番

專門内科一般
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五改(電話一八一番)
川井内科診療所
醫學士 川井 重子
女醫 川井 安子

◎如何ナル重患デモナオス
本院デワ特ニ今般
診察無料
眼鏡科ノ改良ナイタシ
檢眼無料デ確實ニ檢定シ
ドンナ眼鏡デモ即座ニ間合セマス非常ニ
便利ニナリマシタ是非御用命ヲ希ヒマス
博士 敬白
平三
大谷時計病院
眼鏡科
電話十九番